

報道関係各位

2014年10月1日

 **GOOD DESIGN AWARD 2014**

モリタ「13m ブーム付多目的消防ポンプ自動車」
モリタエコノス「回転式塵芥収集車 パックマスター7系」

「2014年度グッドデザイン賞」を受賞

株式会社モリタホールディングス

モリタグループが開発した「MVF 13m ブーム付多目的消防ポンプ自動車」と「回転式塵芥収集車 パックマスター7系」が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2014年度グッドデザイン賞」を受賞しました。モリタグループでは、『心を込めたモノづくりと、絶えざる技術革新によって「安全で住みよい豊かな社会に貢献する!』という企業理念のもと、今後もさらなる商品開発に取り組んでまいります。



MVF 13m ブーム付多目的消防ポンプ自動車



回転式塵芥収集車 パックマスター7系

■製品名: MVF 13m ブーム付多目的消防ポンプ自動車

概要)

MVF(MORITA VARIOUS FIGHTER)は、地上から高さ13.7m～2.1mの災害現場で救助・消火活動が行える、バスケット付ブームおよび水槽を搭載した国内初の消防車です。近年、雑居ビル等での火災が多発している一方で、大型のはしご車は狭い場所への進入が困難なことから、消火活動だけでなく、高所救助活動も行えるコンパクトな消防車が求められていました。MVFは、中型クラスの車体にバスケット付ブーム、消火システム、900Lの水槽、資機材収納庫の搭載を実現し、中層建物、河川などの災害発生箇所にバスケットを接近させて、迅速で安全な救助および消火活動を行うことが可能です。

審査委員の評価コメント)

雑居ビルや込み入った都市部での消火活動のための中型消防自動車である。このサイズでバスケット付きブーム(梯子)、水槽を搭載したものは国内初である。日本の都市の火災の状況と各地の消防署の要望とを整理し、最もコンパクトで最大の機能を発揮できるよう考案された。機能が剥き出しでなくスマートに収まったところがいい。消防自動車こそが火災現場のヒーローという開発の意気込みも評価したい。

■製品名:回転式塵芥収集車 パックマスター7系

概要)

パックマスター7系は、ごみ収集作業の効率化と安全性の改善・負担軽減をめざした回転式塵芥収集車です。クラス最小のボディサイズで機動性を高めると共に、クラス最大 5.2 m³の荷箱を搭載。さらに押込力を 20%UP することで積込能力を高めました。後部扉上部に業界初となるアーチ状の取付面(ハイマウントリアパネル)を設け、表示機器類を集中配置し、周囲への注意喚起を向上。開閉の容易な後部扉と従来より 50mm 低い投入口による作業負担軽減を図りました。デザインは荷箱からテールゲートに掛けての段差の少ない一体感と、ハイマウントリアパネルがテールゲートから伸びてくる造形により、従来の尻下がりや鈍重な印象を払拭し、新たなシルエットを生み出しました。

審査委員の評価コメント)

コンパクトながら最大収容力を持つゴミ収集車である。これまでの数々の現場での課題をもとに、現段階では最新鋭の働く自動車である。安全面を考慮し、車体後部上面にアーチ状のリアパネル(ブレーキランプ、照明、サイン)を配し、操作部を腰高に集中させた。いままでにないヒップアップした洒落たゴミ収集車である。

■グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的な世界的デザイン評価・推奨の運動です。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。

このプレスリリースに関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:浦野

TEL:03-5777-5088 E-mail:Hiroko.Urano@morita119.com